篠原小学校「学校だより」　令和６年８月30日

しのささっ子

通知表（あゆみ）を、目標や励みに活用しましょう。

４１日間の夏休みが終わり、子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。暑さ対策としてオンラインで行われた始業式では、代表の子供が、落ち着いた態度で２学期に頑張ることを発表することができました。

さて、篠原小学校では、１年間の教育活動を前期・後期の２期に分けて、それぞれの最終日に通知表（あゆみ）を配付しています。前期は、９月３０日（月）の予定です。

この「あゆみ」は、お子さんが学校生活で、どのようなことを頑張っていたのか、また、努力が必要なことは何かをお知らせするものです。子供は、「あゆみ」を通して自分自身を振り返ることで、これまでの学びを次の学びに生かすことができると思います。そのためにも、お子さんが持ってきた「あゆみ」を見て親が感想を述べる前に（…ちょっと我慢して）、「今回の「あゆみ」、どう思うかな。」と、聞いてあげてはいかがでしょうか。

頑張ったことや伸びているところは褒め、努力が必要なことについては親子で一緒に向き合うことで励まし、「～したい」という目標を子供自身がもてるようになることが大切ですね。

【 あゆみの評価について 】

１ 学習の表れについて

すべての教科は、以下の３観点で評価しています。

①「知識・技能」

知識・技能の習得状況について評価します。また、これまでに身に付けた知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に理解したり、必要な技能を習得したりしているか評価します。

②「思考・判断・表現」

課題解決に必要な思考力・判断力・表現力が、身に付いているか評価します。

③「主体的に学習に取り組む態度」

自分の学びを振り返り、学習を組み立てていく力（調整力）や、課題に対してあきらめることなく最後まで取り組む力（粘り強さ）について評価します。

２ 行動の表れについて

学校生活での行動の中で、「責任感」「思いやり・協力」「公共心・公徳心」等の１０項目のうち、お子さんの個性のよさが特に発揮された項目について評価します。

「あゆみ」が、子供たちのすこやかな成長につながっていくことを期待しています。

主幹教諭　河村　誠